

平成 27 年度 有限会社森伊蔵酒造 提供事業

「もうすぐお正月」

～ 親子で楽しむお正月体験 ～

- 1 趣 旨 身近にある材料を使ってお正月遊びの道具を作り、親子で一緒に遊ぶことで、親子間の絆を深める。また、お正月に関する行事を体験することで、日本の伝統文化のすばらしさを理解させる。

- 2 期 日 平成 27 年 12 月 19 日(土)
～ 20 日(日) 1泊 2日

- 3 対 象 者 幼児から中学生までの家族

- 4 募集定員 20 家族 (70 名程度)

- 5 参 加 者 未就学児 7 人 小学生 22 人 保護者 27 人 計 56 人

- 6 指 導 者 国立大隅青少年自然の家 職員



7 日程・主な活動

時間	活 動 内 容	時間	活 動 内 容
13:30	受付開始	6:30	起床・準備・清掃
14:00	開講式・オリエンテーション	7:00	朝のつどい
14:30	体験 1 「作ろう！遊ぼう！お正月！」 親子でかんたん凧作り 羽子板絵付け体験	7:30	朝食(レストラン)
17:30	宿泊室へ移動	8:40	退所点検
18:00	夕食(レストラン)	9:00	体験 2 「親子で凧揚げ体験」
19:00	入浴	10:40	体験 3 「親子で食べよう手作りそば」 ～ 手作りそば打ち体験～
20:00	自由時間(体験 1 の続き等) ダンボール羽子板作り	13:15	抽選会・アンケート記入・開講式
22:00	就寝	14:00	解散

8 事業運営について

本事業では、お正月を迎えるにあたり、近年ほとんど見かけなくなった羽子板の絵付けやダンボールを利用した羽子板作りを取り入れた。さらに、凧を作って揚げたり、そば打ち体験を行ったりする中で、親子で楽しくお正月を迎えられる雰囲気を高めようと計画した。



9 事業の実際

- (1) 親子でかんたん凧作りでは、身近な材料や道具を使用し、簡単に作ることができるといった点を重視した。活動中には、ビニール袋がずれないように手で押さえるなど、親子で協力して凧を作る姿が見られた。
- (2) 羽子板絵付け体験では、自由なデザインの羽子板を制作してもらうために、水彩絵の具のほかに、どんぐりや木の枝などの自然物や、お正月らしい和紙や紐など、たくさんの材料を用意した。参加者は、多くの材料を使って個性豊かな作品を作り上げていた。
- (3) ダンボール羽子板は、絵付け体験の羽子板とは違い、ダンボールや割り箸を使い実際に羽根を突いて遊ぶための羽子板である。羽子板体験は初めてという参加者が多く、初めのうちは空振りが多かったが、段々とうまく打ち返すことができるようになり、会場では、笑い声も飛び交っていた。
- (4) 2日目の午前中には、1日目に作った凧を実際に揚げる凧揚げ体験を行った。天気にも恵まれ、参加者は、凧を支えたり、風が吹いたら合図を出したりと親子で協力しながら、凧揚げを楽しんでいた。
- (5) 2日目の最後は、4人の講師に指導していただきながら、そば打ち体験を行った。初めてそば打ちを体験する参加者も多くいたが、親子で、練る、切るなどの役割分担をして協力し合いながら、長い、細い太い、短いといった個性のあるそばを作り上げた。

10 成果

凧作りや凧揚げ、羽子板の絵付け体験やダンボール羽子板作り、そば打ち体験など、お正月に関するクラフトや体験を行うことで、日本の伝統文化を再確認するよい機会となった。

身近な材料や道具を使って簡単に作れるものをメインに制作を行ったことで、「作ったもので遊ぶのが楽しかったです」といった感想をいただいた。

参加者からは「自分自身もなかなか体験する機会のない日本のお正月を今一度見つめ直すことができ良かったです」といったような意見を多くいただいた。

